

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

かぜに
注意するっキー!



発行者:校長 岡田 達也

～ 図が お かが やき 図んばる 学校 図うえんだん 「チーム北川」 ～

命を守るために 考え、判断し、行動する!

21日(木)のお昼休みに、地震を想定した避難訓練を実施しました。今回は、子どもたちに自ら考え、適切に判断し、すばやく行動しようとする態度を育てるために、地震が起こった際の対処の仕方についての事前指導を行ったのち、訓練日時を知らせず実施しました。

お昼休みということもあり、子どもたちはそれぞれの場所で思い思いに過ごしていました。子どもたちは、地震発生を知らせる地震の音、そして避難指示等を行う放送をよく聞いて、自ら考え、適切に判断し、すばやく行動することができました。教職員の指示がないため、頼りになるのは自分自身と一緒にいる友達のみ。

しかし、子どもたちは、事前指導をよく理解して行動することができました。大切なことは、

- ① 地震発生時の基本行動は、どこにいても、どのような状況でも、「上からものが落ちてこない」「横からものが倒れてこない」「ものが移動してこない」場所を見つけ、すばやく身を寄せて安全を確保する。
- ② そのために、何が危ないのか、校舎内外で落ちてくるもの、倒れてくるもの、移動してくるものとはどんなものなのかを、一人一人の子どもがきちんと理解しておく。

ということです。子どもたちは、自分がいた場所の状況を基に考え、判断し、机の下に避難したり、運動場の中央に避難したりしていました。緊急時には、学級で指導されたこと(知識)をもとに、想像力を働かせて考え、適切に判断し、すばやく行動する力が欠かせません。つまり、正しい知識を身に付けていなければ適切な判断ができにくいということです。

【これだけは忘れないで!】

- ◇突然ゆれを感じたり、緊急地震速報を聞いたりしたときは、慌てずに体(頭)を守る。
- ◇教室では、机の下に隠れ、机のあしの上の方をしっかりと握る。
- ◇廊下では、窓ガラスから離れ、頭を守ってしゃがむ。
- ◇校庭では、校舎や倒れそうなものから離れ、頭を守ってしゃがむ。

いつも先生や大人と一緒にいるわけではありません。子どもたち自身が、自分の体(命)は自分で守ることができるようになるためには、正しい知識をもち、それをもとに考え、適切に判断し、落ち着いてすばやく行動する態度を育てていくことが大切だと思います。

ぜひご家庭でも、地震や水害、火災等の避難の仕方について話題にしていいただければと思います。

